

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	避難時、入居者が避難したかどうか居室ドアを閉めていると分かりにくく、再度ドアを開けて確認するという二度手間になっている。	どの職員でも手早く対応できるような手段を考える。	ドア表札部分に“在”“不在”が分かる札を取り付け避難後は不在にする。 訓練で行ってみて不都合があったり、日常生活の内に取り外してしまう入居者さんがいる場合には他の手段を再検討する。	6か月
2	4	他ホームでの推進会議で話がまとまり、地域サロンが開催されることになった。当ホーム周辺では地域との関わりが薄い所がある。	隣地域にはなるが、サロンに入居者さんも参加し、交流を広めていく。	様々な形で毎週サロンが開催されることになっているが、週1回、入居者の方々と年齢の近い方が集まる機会には出席するようにする。 余裕があれば、子どもが集まる機会にも参加していきたい。	6か月
3					ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。